

倶多楽

○ 概況

本日 5 月 3 日 08 時頃、倶多楽の大正地獄からお湯が高さ 3～5m まで噴出し、そこから水蒸気が約 20m くらい上がっているとの通報があり、札幌管区気象台及び北海道大学が同日 15 時半頃に現地調査を行いました。

その結果、大正地獄では、灰色で高さ 2～3m の泥混じりの熱湯の噴出が連続的に発生しているのが観測されました。最初に通報を受け状況を確認していた現地の（財）自然公園財団の職員によると、熱湯の噴出の勢いは通報があった頃に比べ弱まってきているとのことでした。温泉温度は約 97℃で、前回観測時（2006 年 10 月、約 61℃）に比べ上昇していました。

なお、大湯沼や奥湯沼等その他の温泉・噴気地帯の状況に、特段の変化はありませんでした。

また、気象台で行っている地震観測では、火山性地震の増加や火山性微動の発生は観測されていません。

以上のとおり、倶多楽の大正地獄では小規模な泥混じりの熱湯の噴出が発生しており、その付近では注意が必要ですが、倶多楽の火山活動には特段の活発化はみられず静穏な状況が続いています。

倶多楽では、1984 年にも大湯沼において一時的に同様の土砂混じりの熱湯の噴出がみられ、温泉温度が約 96℃と高くなったことがありました。



図 1 倶多楽 大正地獄の泥混じりの熱湯の噴出
(2007 年 5 月 3 日撮影)

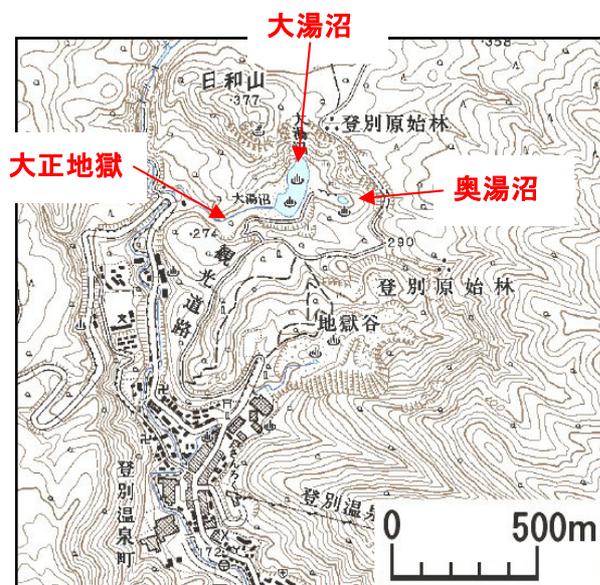


図 2 倶多楽 周辺図
気象台では 1989 年以降、大正地獄、大湯沼等で温泉温度の観測を行っている

○ 地震活動の状況

地震活動は低調に経過しています。火山性微動は観測されていません。

表 1 倶多楽 地震・微動の月回数 (上登別) 2007 年 5 月は 3 日 16 時現在

2006~2007年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
地震回数	3	1	3	2	2	—	—	2	8	4	1	2	0
微動回数	0	0	0	0	0	—	—	0	0	0	0	0	0

2006 年 10 月 1 日~12 月 22 日まで欠測

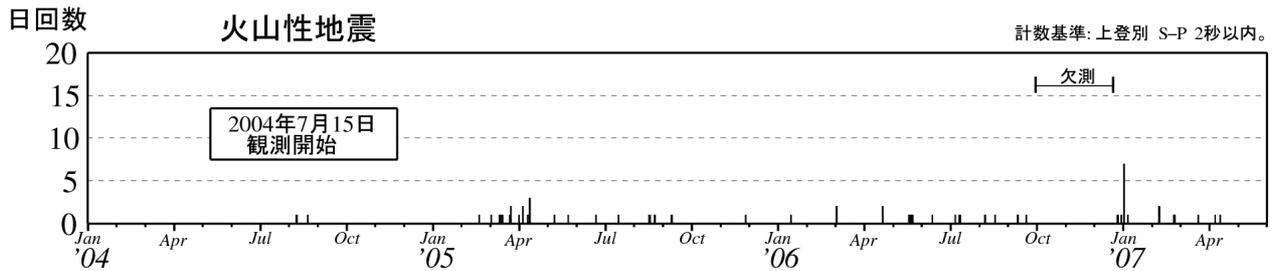


図 3 倶多楽 火山性地震の日回数 (2004 年 7 月 15 日~2007 年 5 月 3 日 16 時現在)

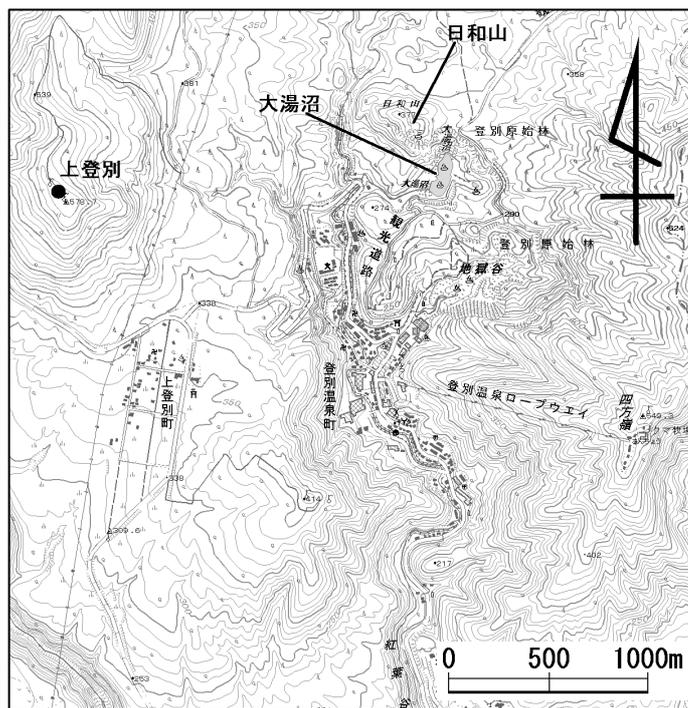


図 4 倶多楽 地震計配置図 (图中●)